



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月3日
東

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所
コード番号 2497 URL <https://united.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 与規
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 山下 優司 (TEL) 03(6821)0000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,049	4.6	66	—	57	—	216	—
2026年3月期第1四半期	1,959	△58.4	△493	—	△509	—	△394	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △282百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △475百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	5.78	—
2026年3月期第1四半期	△10.22	—

(注) 2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。また、2027年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	18,554	17,049	88.9
2026年3月期	20,048	17,764	85.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 16,494百万円 2026年3月期 17,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800～ 8,200	△12.0～ △7.5	0～200	—	0～100	—	0～50	—	0.00～1.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 —社(社名)— 、除外 1社(社名) フォッグ(株)

(期中における連結範囲の重要な変更に関する注記)

フォッグ(株)の株式を一部譲渡したことにより、同社は当第1四半期連結会計期間の期首より連結の範囲から除外され、持分法適用会社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	40,412,690株	2026年3月期	40,412,690株
2027年3月期1Q	2,972,308株	2026年3月期	2,971,488株
2027年3月期1Q	37,440,665株	2026年3月期1Q	38,604,343株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

2026年8月3日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかに回復している一方、物価上昇の継続による個人消費に及ぼす影響や、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスク、中東・ウクライナ等の情勢など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、パーパス「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」に基づき、現時点で収益の柱となる投資事業、教育事業、アドテク事業を中核事業と位置づけ、各事業個別の戦略で成長を目指してまいります。また、その他の事業は、育成中事業として、次なる中核事業としての成長を目指してそれぞれの事業に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、投資事業で投資先株式の売却量が前年同期比で増加した影響により、売上高は2,049,130千円(前年同四半期比4.6%増)、営業利益は66,399千円(前年同四半期は営業損失493,866千円)、経常利益は57,764千円(前年同四半期は経常損失509,467千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は216,285千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失394,519千円)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、中核事業を明確化するため、報告セグメントを従来の「投資事業」、「教育事業」、「人材マッチング事業」、「アドテク・コンテンツ事業」から「投資事業」、「教育事業」、「アドテク事業」、「育成中事業」の4区分に変更しております。以下の前年同四半期比較については、当該変更後の区分方法により作成しております。

また、株式譲渡によって当第1四半期連結会計期間の期首より連結の範囲から除外したフォッグ㈱、及び前連結会計年度に事業譲渡した㈱ブリューアスのIT教育事業につきましては、比較情報となる前第1四半期連結累計期間においては育成中事業に含めております。

① 投資事業

投資事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、投資先株式の売却量が前年同四半期比で増加した影響により、売上高は668,255千円(前年同四半期比699.3%増)、セグメント利益は469,526千円(前年同四半期はセグメント損失23,085千円)となりました。

② 教育事業

教育事業は、個別指導学習塾事業を運営する㈱ベストコにより構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、新規教室の出店・生徒数の拡大により、売上高は507,829千円(前年同四半期比10.9%増)と増収となりましたが、新規教室出店によるコスト増加に伴い、セグメント損失は204,609千円(前年同四半期はセグメント損失120,164千円)となりました。

③ アドテク事業

アドテク事業は、ウェブ広告領域における広告プロダクトの開発・運営や、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通じたサービスを提供しているユナイテッドマーケティングテクノロジーズ㈱により構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、新たな広告媒体への対応が進み取扱高が拡大したこと等により、売上高は333,534千円(前年同四半期比2.5%増)、セグメント利益は70,958千円(前年同四半期比0.1%増)となりました。

④ 育成中事業

育成中事業は、スマートフォン向けアプリ開発事業を運営する㈱ブリューアス、スカウト送信代行、採用支援等のRPO(採用代行サービス)事業、人材紹介事業を運営するユナイテッド・リクルートメント㈱、デザイナー特化型マッチング事業を運営する㈱リベイス、及びスポーツビジネス支援事業、会員管理サービス事業等を運営する㈱インターナショナルスポーツマーケティングにより構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、当第1四半期連結会計期間の期首よりフォッグ㈱が連結除外となったこと、及び㈱ブリューアスが運営していたIT教育事業を前連結会計年度に事業譲渡したことから、売上高は548,146千円(前年同四半期比49.9%減)となりましたが、前年同四半期に営業損失を計上していたフォッグ㈱及びIT教育事業が連結除外又は事業譲渡となったことから、セグメント損失は11,606千円(前年同四半期はセグメント損失168,902千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,494,335千円減少し、18,554,439千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・営業投資有価証券は、投資事業における投資先株式の売却及び時価評価等により、前連結会計年度末に比べ780,129千円減少しております。
- ・売掛金は、フォッグ㈱の連結除外及び前連結会計年度末時点の売掛金回収等により、前連結会計年度末に比べ462,900千円減少しております。
- ・現金及び預金は、剰余金の配当、法人税等の納付等により、前連結会計年度末に比べ389,173千円減少しております。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ779,688千円減少し、1,504,870千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・買掛金は、フォッグ㈱の連結除外等により、前連結会計年度末に比べ395,762千円減少しております。
- ・その他流動負債は、事業上の預り金の減少等により、前連結会計年度末に比べ187,191千円減少しております。
- ・繰延税金負債は、投資事業における投資先株式の売却及び時価評価等により、前連結会計年度末に比べ176,395千円減少しております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ714,646千円減少し、17,049,569千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・その他有価証券評価差額金は、投資事業における投資先株式の売却及び時価評価等により、前連結会計年度末に比べ453,456千円減少しております。
- ・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ214,288千円減少しております。
 - ・親会社株主に帰属する四半期純利益216,285千円の計上
 - ・剰余金の配当による430,573千円減少

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績予想は、2026年3月期通期決算短信で公表した数値から変更ありません。詳細は2026年5月11日に発表しました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2027年3月期通期連結業績予想(2026年4月～2027年3月)

売上高	7,800～8,200百万円(前連結会計年度比12.0%～7.5%減)
営業利益	0～ 200百万円(前連結会計年度は営業損失1,221百万円)
経常利益	0～ 100百万円(前連結会計年度は経常損失1,268百万円)
親会社株主に帰属する当期純利益	0～ 50百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失1,559百万円)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,963,294	5,574,120
売掛金	1,181,902	719,001
営業投資有価証券	9,066,428	8,286,299
棚卸資産	20,603	65,756
その他	923,377	891,334
貸倒引当金	△16,549	△16,232
流動資産合計	17,139,056	15,520,280
固定資産		
有形固定資産	371,511	401,073
無形固定資産		
のれん	388,793	362,873
その他	339,378	357,663
無形固定資産合計	728,171	720,537
投資その他の資産	1,810,034	1,912,547
固定資産合計	2,909,718	3,034,159
資産合計	20,048,774	18,554,439
負債の部		
流動負債		
買掛金	860,231	464,469
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	61,868	56,367
未払法人税等	133,014	92,118
賞与引当金	47,063	76,882
その他	683,544	496,352
流動負債合計	1,885,722	1,286,190
固定負債		
長期借入金	34,653	28,182
資産除去債務	34,579	37,289
繰延税金負債	329,603	153,207
固定負債合計	398,835	218,679
負債合計	2,284,558	1,504,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	598,473	598,473
利益剰余金	15,077,816	14,863,528
自己株式	△1,966,015	△1,966,030
株主資本合計	16,633,293	16,418,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	528,655	75,198
繰延ヘッジ損益	△11,605	-
その他の包括利益累計額合計	517,049	75,198
新株予約権	127,187	127,187
非支配株主持分	486,685	428,192
純資産合計	17,764,216	17,049,569
負債純資産合計	20,048,774	18,554,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,959,563	2,049,130
売上原価	1,358,510	1,084,861
売上総利益	601,052	964,269
販売費及び一般管理費	1,094,918	897,869
営業利益又は営業損失(△)	△493,866	66,399
営業外収益		
受取利息	8,299	8,275
未払配当金除斥益	1,059	659
その他	5,309	3,012
営業外収益合計	14,667	11,947
営業外費用		
支払利息	762	726
持分法による投資損失	-	16,888
為替差損	830	1,071
控除対象外消費税等	6,696	1,620
支払奨励金	19,172	-
その他	2,807	274
営業外費用合計	30,268	20,582
経常利益又は経常損失(△)	△509,467	57,764
特別利益		
関係会社株式売却益	-	123,590
特別利益合計	-	123,590
特別損失		
事務所移転費用	3,284	-
特別損失合計	3,284	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△512,752	181,355
法人税、住民税及び事業税	42,471	81,441
法人税等調整額	△102,091	△59,060
法人税等合計	△59,620	22,381
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△453,132	158,974
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,613	△57,311
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△394,519	216,285

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△453,132	158,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,229	△452,739
繰延ヘッジ損益	-	11,605
その他の包括利益合計	△22,229	△441,133
四半期包括利益	△475,361	△282,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△413,913	△225,565
非支配株主に係る四半期包括利益	△61,448	△56,594

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	投資事業	教育事業	アドテク事業	育成中事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	458,029	325,490	1,092,434	1,875,953	—	1,875,953
その他の収益	83,609	—	—	—	83,609	—	83,609
外部顧客への 売上高	83,609	458,029	325,490	1,092,434	1,959,563	—	1,959,563
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,882	1,882	△1,882	—
計	83,609	458,029	325,490	1,094,316	1,961,446	△1,882	1,959,563
セグメント利益又は 損失(△)	△23,085	△120,164	70,885	△168,902	△241,268	△252,598	△493,866

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△252,598千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	投資事業	教育事業	アドテク事業	育成中事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	507,829	333,534	539,511	1,380,874	—	1,380,874
その他の収益	668,255	—	—	—	668,255	—	668,255
外部顧客への 売上高	668,255	507,829	333,534	539,511	2,049,130	—	2,049,130
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	8,634	8,634	△8,634	—
計	668,255	507,829	333,534	548,146	2,057,765	△8,634	2,049,130
セグメント利益又は 損失(△)	469,526	△204,609	70,958	△11,606	324,269	△257,870	66,399

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△257,870千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、中核事業を明確化するため、報告セグメントを従来の「投資事業」、「教育事業」、「人材マッチング事業」、「アドテク・コンテンツ事業」から「投資事業」、「教育事業」、「アドテク事業」、「育成中事業」の4区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

また、当第1四半期連結会計期間の期首より連結の範囲から除外したフォッグ㈱、及び前連結会計年度に事業譲渡した㈱ブリューアスのIT教育事業につきましては、前第1四半期連結累計期間においては育成中事業に含めております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	48,688千円	53,918千円
のれんの償却額	29,283千円	25,919千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。